

有機フッ素化合物(PFAS)検査のご案内



有機フッ素化合物（PFAS）は、水や油をはじき、熱に強い特性から、撥水剤、コーティング剤、消火剤等として1940年代から広く産業利用されてきました。しかし、自然界や体内で分解されにくく、蓄積されやすいことが問題視されています。PFASのうち、古くから使用されてきたPFOS、PFOA、PFHxSの3種類は国際条約で製造・使用・輸入が禁止されています。水道水については、令和2年に水質管理目標設定項目としての目標値（暫定）が50 ng/L（PFOS及びPFOAの合算値）に設定され、水環境については、令和2年に要監視項目としての指針値（暫定）が50 ng/L（PFOS及びPFOAの合算値）に設定されました。当協会では、試料の採取から分析までを一貫して行っております。

■分析のご案内

項目	内容
分析対応試料	水道水、環境水（河川水、地下水） ※その他の試料につきましては、ご相談ください。
分析項目	PFOS、PFOA、PFHxS ※その他項目につきましては、ご相談ください。
定量下限値	試料の種類や目標値に対応した定量下限値にて、ご報告します。

ご相談、見積のご依頼など、お気軽にお申しつけください。

■お問い合わせ

一般財団法人九州環境管理協会 技術部

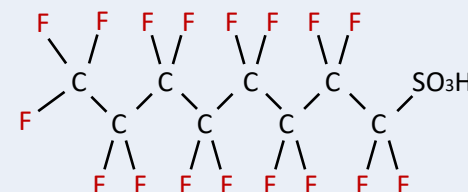
〒813-0004 福岡市東区松香台1-10-1

TEL : **092-662-0964**

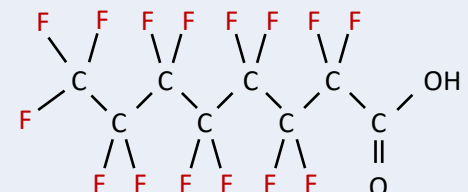
Email : syougai@keea.or.jp

URL : <https://keea.or.jp>

PFOS



PFOA



PFHxS

